

2022年3月3日

ロシア連邦大統領
ウラジーミル ウラジーミロヴィチ プーチン 閣下

ウクライナへの軍事侵攻に抗議します！

私たち、日本労働組合総連合会（連合）は、核兵器の廃絶、そして平和で安定した社会と暮らしの実現をめざしています。

現在、ウクライナの地では貴国による軍事侵攻が続いています。報道によれば、子どもを含め、多くの民間人に犠牲が出ているとのことであり、これまでの平和な暮らしが脅かされていることは到底看過できるものではありません。

この間の、貴国によるウクライナ東部地域の一方的な独立承認や軍事侵攻などの一連の行為は、ウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務づける国連憲章や国際法に違反するものです。

加えて、軍事侵攻に際しての貴国の核保有を誇示する姿勢や核兵器の使用を示唆する発言、さらには戦略的核抑止部隊への「特別警戒」命令など、非人道的な核兵器の使用はもちろんですが、核兵器の力を背景とした圧力をかけること自体、到底許されるものではありません。これらは、本年1月に貴国を含む核保有5カ国が発出した共同宣言の内容にも反するものです。

今から77年前、日本の広島と長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われました。今なお、後遺症で苦しむ人、大切な人を失った苦しみを抱える人が多数存在します。一瞬で、人の命が、日常が、大切なものが奪われる、あのような惨劇を繰り返してはなりません。

連合は、このたびの貴国の軍事侵攻を厳しく非難し、即時の作戦中止とウクライナからの撤退を強く求めるとともに、核兵器の使用を示唆した一連の行為を含め、ここに厳重に抗議いたします。

日本労働組合総連合会（連合）
会長 芳野 友子